

迎 星二
MUKAE seiji

stage.4

「solid air」

上昇する張りのある気体をイメージ。



三神 慎一郎
MIKAMI shinichiro

stage.5

「On the rainbow」

長かった雨景色は
雲の切れ目から光を覗かせ
新しい青色を私に見せた
生まれたかっただけなのに
ボロボロになった私だけ
長く降り続いた雨は
その泥を落とし
綺麗に飾り立ててくれた
始まりの町に
新たな雫が降り立った
希望と共に私達は
彼らを見た



宮崎 瑞土
MIYAZAKI mizuto

stage.5

「honeycomb」

蜂の巣。
正六角形が規則的に幾重にも繋がっていく。
たくさんの人達との繋がりを大切にしていきたいと、気持ちを胸に。



森田 太初
MORITA taisho

stage.6

「阿修羅」

120°に合わせた鏡に怒れる
仏が映り込むことで、三つの怒面を持つ阿修羅が出現します。
阿修羅は仏教では正義を司る神といわれ、古くインドでは生命生気の善神でした。
興福寺の阿修羅像などは非常に穏やかなお顔をしています。しかし昨今の人間の行いは、自然界において正しい事を行っているか甚だ、疑問です。穏やかなお顔に戻るよう、がんばります。



渡辺 志桜里
WATANABE shiori

stage.6

「まち」

取手の街を俯瞰しました



鈴木 弦人
SUZUKI gento

stage.6

「入道雲」

夕暮れ時の入道雲は不思議な色をしながらとてもニョキニョキしていました。



岩崎 裕純
IWASAKI hirosumi

stage.7

「catena」

一つ一つのモノやコトは、互いにかかり合いながら連鎖してゆく…。



今関 舞香
IMAZEKI maika

stage.7

「いただきますの木」

“たべる”は、五感全てを使うことのできる特別な行為だ。私たちは五感を研ぎ澄ませながら目の前にある命や時間や文化をいただこう。そうして生活の中で最も特殊な時間を誰かと共にすれば、より相手との繋がりを深く育てていける。

